

令和3年4月から6月

ご提案要旨	市からの回答	市からの回答	担当課
<p>PayPayにおける地方自治体と一緒に取り組む「あなたのまちを応援プロジェクト」について</p>	<p>左記のキャンペーンについて、ふじみ野市で実施していない理由が知りたい。魅力のある街づくりのためメリット・デメリットを比較分析し、メリットが多ければ採用してほしい。</p>	<p>PayPay自治体キャンペーンにつきましては、魅力ある街づくりのため、若い世帯へ地域の魅力をアピールすることは非常に重要なことと考えております。本市では、他市に先がけ令和2年8月にキャッシュレス化の推進、及び市内事業者への緊急経済対策としてPayPay自治体キャンペーンを実施させて頂きました。電子決済を利用される方からは再度実施を希望する声もありましたが、電子決済の利用が難しい方もおり、市においてプレミアム付商品券の発行も併せて実施した経緯もございます。昨年の経緯もあり、現時点での再度実施は検討しておりませんが、若い世帯への魅力ある街づくりをアピールするものの一つとして、頂きましたご意見を含め今後の経済対策事業検討時の参考とさせて頂きたいと考えております。</p>	<p>産業振興課</p>
<p>学校PTAに対する考え方について</p>	<p>埼玉県教委が2017年1月に、県内の小中学校長に宛て「PTA活動を円滑に推進するための留意事項について」の通知を出していると認識しているが、これは取消になったのか。PTAが任意であることを教えてもらえず、しいていえばPTAに加入しなければ私の児童が他の児童と一緒に登校することができないと案内された。またPTAの資料には「児童1人につき1回は必ず役員に就いていただく」など、上記の通知に配慮されていないと感じる。市としての考えを教えてください。</p>	<p>PTAにつきまして、教育委員会は、市内全小中学校に対し、ご指摘の事務連絡「PTA活動を円滑に運営するための留意事項について」を周知しております。この度いただいたご意見は、教育委員会にもお伝えいたしました。今後とも市政に対しまして、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>学校教育課</p>
<p>上福岡駅東口駅前指定喫煙所に関するお願い</p>	<p>駅前歩道橋が開通するにあたり、利用者らのたばこ店前での受動喫煙が解消されることが期待される。しかし、逆に市の指定喫煙所の真上を通ることにより生じる受動喫煙問題はどうか。また、公設喫煙所設置によりゴミや吸い殻ポイ捨てに増加による駅前環境の悪化を招いている。公設喫煙所を撤去し、たばこ店前に一本化するのが望ましい。また今後、路上喫煙禁止区域での監視罰則体制強化などの条例を策定する予定はあるか。</p>	<p>上福岡駅東口駅前広場における朝夕の通勤通学時間帯には、歩行者と自動車が増減する状況であり、駅前広場の安全確保が喫煙の課題となっております。このような状況を受け、現在整備している歩道橋は、歩行者と自動車の分離による駅前広場の交通安全の確保を目的として、橋上駅舎からサンロードへとつながる歩道橋を整備するものであります。歩道橋設置に伴う受動喫煙の懸念など、今回ご要望いただきました上福岡駅東口駅前指定喫煙所のあり方につきましては、改めて研究課題とさせていただきます。また、過料を含めた路上喫煙禁止区域における監視罰則体制強化につきましては、近隣市町村の状況を踏まえた上で研究課題とさせていただくとともに、「ポイ捨て及び路上喫煙防止キャンペーン」を実施することでポイ捨て防止を呼びかけるとともに喫煙者のマナー向上を図ってまいります。</p>	<p>環境課 都市計画課</p>

令和3年4月から6月

ご提案要旨	市からの回答	担当課	
<p>子どもファーストの街づくり</p>	<p>子どもファーストの街づくりをお願いしたい。子どもに寄り添う街の雰囲気を感じたため移住したが、保育園入園に落ちたり、全国と同じ支援を受けるたびに、改善点がたくさんあると考える。子育てに対して先進的な街づくりする自治体のロールモデルになってほしい。</p>	<p>市からの回答</p> <p>御要望いただきました、子ども優先のまちづくりにおける子育て支援施策例につきましては、他の自治体におきまして様々な取り組みを実施しているものと認識しております。本市といたしましても、「子ども優先のまちづくり」を市政の柱とし、子育て支援の拡充や改善に不断なく取り組み、毎年度子育てに有効な様々なサービスを展開しております。</p> <p>具体的には、令和3年度から実施する放課後児童クラブ給食サービスや不妊治療費助成事業の拡充の他、既に導入しております産後ケア事業、妊婦の方や就学前のお子さんと保護者のタクシー代を補助するお出かけサポートタクシーの実施、また、令和2年度の新型コロナウイルス禍においては、令和2年4月29日から12月31日までに生まれた子どもに対する特別出産給付金の給付、国が接種を推奨する妊娠中の方に加え生後6か月から中学3年生までの子どもを対象としたインフルエンザ予防接種費用の全額助成などは、一部のサービス事業であり、この他本市として誇れる事業が複数あります。</p> <p>このような子育て支援施策の実施にあたりましては、限られた財源の中で優先度の高い有効な施策を選択し実施に努めております。併せまして、地域ぐるみで出産や育児にかかる家庭の負担を軽減し、ソフト面においても切れ目のない継続した子育て支援を推進することで、子どもを安心して産み育てられる環境づくりを目指しているところでございます。また、保育施設につきましては、民間保育施設等の誘致を積極的に展開した結果、近隣でも待機児童の少ない市となっておりますが、御希望に添えない結果となった事につきましては、大変残念な結果と受け止めております。</p> <p>さらに、令和4年度におきましては、子どもファーストのまちづくりを進めるため、埼玉県内では初めてとなります「こどもにやさしいまちづくり条例」を制定することを目指しており、更なる子どもファーストのまちづくりへの礎とし、オールふじみ野で子ども達を育むまちづくりを推進してまいりたいと考えております。</p>	<p>子育て支援課</p>
<p>環境問題について</p>	<p>さまざまな環境問題が叫ばれる中、環境への取り組みを進める社会的責任があると考えている。他の自治体などでは既に始まっている太陽光蓄電池機器導入の補助金制度や、雨水タンクの助成金制度を進めてほしい。</p>	<p>市からの回答</p> <p>今回ご提案いただきました太陽光蓄電池導入の補助金制度及び雨水タンクの助成金制度につきまして、現在ふじみ野市においてはいずれの助成制度も設けていないのが現状です。しかしながら、環境負荷を少しでも減らす取り組みは確かに大事なことであると思います。本市といたしましても、この度ご提案いただいた助成金制度の導入につきましては、他の自治体の導入状況を踏まえた上で研究課題とさせていただきます。</p> <p>このたびは、ご要望をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。</p>	<p>環境課</p>
<p>新日本無線跡地の利用について</p>	<p>国道254号線バイパス沿いに、工業団地を造成する計画があると知った。新日本無線跡地を市で買い上げて、工場などを誘致すべきではなかったのか。</p>	<p>市からの回答</p> <p>魅力ある街づくりのため、撤退した企業の跡地への企業誘致については非常に重要なことと考えております。本市では、平成27年から戦略的に企業誘致活動を実施しているところでございますが、工場等の跡地については、あくまでも地権者と進出企業の合意により企業の進出が決定するものであり、本市において、工場等の跡地を買い上げて企業を誘致することは行っておりません。</p> <p>魅力ある街づくりを目指し、市内企業への支援及び市内への進出を希望する企業に対しての支援を引き続き実施してまいりたいと考えております。</p>	<p>産業振興課</p>

令和3年4月から6月

ご提案要旨	市からの回答	担当課	
<p>市長、市長の妻、市長の公用車運転手の新型コロナワクチンの不正接種について、また事実を非公表にしていた件</p>	<p>医療従事者の枠を使って、市長、市長の妻、市長の公用車運転手の新型コロナワクチンの接種は明らかに不正である。ふじみ野市は市立病院もなく市長は管理者でもない。まして、妻と、市役所公用車の運転員は市長の濃厚接触者に当たるからとの理由は全くおかしい。全国の医療従事者の濃厚接触者と想定される該当者で医療従事者枠で優先接種をした例は無い。ワクチン接種を進めていく上で市長が欠けてもっては困るということも無い。市長が不在でも副市長や助役をはじめ、市議会議長などが代行できるようになっている。事後の公表により市民は誤解しているのでなく本質を見抜いた。大変申し訳なく思うのは謝罪ではない。即刻引責辞任すべきである。</p>	<p>市からの回答</p> <p>今年3月から現在に至るまで、ふじみ野市医師会の先生方の献身的なご協力のもと、ワクチン接種の準備計画や、オペレーション全体について先生方とともに調整会議を重ねてまいりました。会議はリモートではなく、先生方の診療時間が終わった後に、夜7時頃から4人の先生方と、私と、担当部長をはじめ、接種を担当する保健センターの職員が参加して、調整会議を進めてまいりました。その会議の中で、医師会の先生方から、ワクチン接種を進めていく上で市長が欠けてもっては困る、ということで、市長も接種をすべきであるというご助言をいただきました。あわせて、医療の最前線で戦っておられる先生方と席を共にするというので、この会議の参加者については接種を済ませていただきたいとの要請により、接種を受けるという判断をさせていただきました。</p> <p>こうしたやり取りの中、先生方からのご助言については、当初、私の接種については少し迷いもありましたが、先生方の接種も終わり、再度先生方からの強い要請もありましたので、会議に参加する者はすべてが接種しておいた方がよいと考え、接種の判断をしたところでございます。実際に接種を受けるに当たりましては、先生から、私自身が感染し、その場にいらなくなるリスクを避けることは当然のことながら、濃厚接触に当たる身近な人についても同時に接種することが有効であるご指導をいただき、共に生活をしている妻と、密室の空間の中で移動を共にしている市役所公用車の運転員が思い当たります、とお答えしたところ、最低限その方々と共に接種を受けていただきたい、というアドバイスをいただきました。</p> <p>しかしながら、アドバイスを踏まえ、最終的に判断したのは私でございます。各自治体の首長の先行接種についてさまざまな報道がある中で、5月18日の議会の全員協議会において、この事実に関する報告をさせていただき、5月19日には、記者会見を開き、市民の皆さまにも公表させていただいた次第でございます。</p> <p>事後の公表になり、市民の皆さまに誤解を与えてしまったことにつきまして、大変申し訳なく思っております。</p> <p>今後も引き続き、速やかなワクチン接種を進め、早期の集団免疫の獲得に向けて全力を尽くしていきたいと考えております。</p>	<p>秘書室</p>
<p>道路について</p>	<p>富士見市ふじみ野東からふじみ野市苗間まで道を伸ばしてほしい。駅の地下通路の利用は負担が大きい。道路新設の計画はあるか。</p>	<p>苗間地区においては、昭和60年代に地権者組織が土地区画整理事業による、まちづくりの計画を検討しておりましたが、事業化に至らなかった経緯がございます。当市では、地権者組織による土地区画整理事業の事業推進が難しいことから、土地区画整理事業に代わるまちづくり手法について説明会を開催し、市民の皆様の意向確認を行いながら検討を続けております。いずれにいたしましても、まちづくりは地域住民の合意形成及び関係地権者の方々の権利を尊重し、慎重に進めていく必要があります。</p> <p>現在、ご提案いただいた地区の整備計画はございませんが、引き続き市民の皆様とともに市民目線に立って苗間地区全体のまちづくりを検討してまいります。</p>	<p>都市計画課</p>

令和3年4月から6月

ご提案要旨	市からの回答	市からの回答	担当課
<p>まん延防止等重点措置に関する市内定時放送について</p>	<p>現在、まん延防止等重点措置に関する不要不急の外出自粛を伝える市内放送が毎日朝10時にあるが、夜勤に近いライフスタイルのため、この放送で必然的に睡眠が阻害されてしまう。市民の中には夜勤の方が必ずいるため、ただ毎日決まった時間に同じ録音を流すことは、本来の意義と重要性からも離れてしまっているのではないかと。すべての市民の阻害を無くすことは不可能だが、すべての市民に一定の配慮をして、このコロナ危機を乗り越えられるよう、市長と市役所・行政の皆様には引き続きのリーダーシップを期待している。</p>	<p>毎日午前10時の放送により睡眠が阻害され、体調を崩されているとのことで、ご迷惑をお掛けし大変申し訳ございません。本放送につきましては、埼玉県から、市民の皆様へ防災行政無線を活用し、不要不急の外出や県境をまたぐ往來の自粛について呼びかけの要請に基づき実施しているものでございます。現在の放送時間につきましては、行政境にお住まいの方々に放送の重複による混乱が起きないように、隣接する市町と調整した上で午前10時に設定させていただいております。しかし、ご提案にもありますように、長期間同様の放送を同時刻に実施していること、市民の皆様の多様化したライフスタイルの状況等も踏まえ、周知の方法を再検討するよう担当へ指示いたしましたのでご報告いたします。</p>	<p>危機管理防災課</p>
<p>市の組織と危機管理、その他について</p>	<p>市の組織系統として市長のもとにラインで副市長、スタッフとして危機管理監が置かれているが、実際にそれぞれが有効に働き機能していないのであれば廃止すべきである。今回の提案のきっかけは、市長の新型コロナウイルスワクチン接種に関する市長発言で『市長が欠けてもらっては困る』との医師会意見があつて接種を受ける判断に至ったとのことだが、なんのために副市長、危機管理監を置いているのか。また、公用車運転員、市長の配偶者の接種については到底理解できない。</p> <p>また、当該サイトのワクチン接種実施予定医療機関一覧37機関と、厚労省のコロナワクチンナビによるふじみ野市の接種会場一覧との不一致が目立つ。情報提供に際し整合性を求めるとともに、何らかの理由でそれが出来ないのであれば複数箇所・サイトでの掲載を見直すべきである。</p>	<p>ご指摘のとおり、本市は、私が欠けた場合においても副市長がその職務を代理することになっており、市としての機能が維持できるような組織でございます。接種に当たっての私の考えといたしましては、これまでワクチン接種を円滑に進めるため、私自身も参加し幾度も重ねた医師会の先生方との会議で得た経験を十分に生かしながら、市民の皆様の接種計画達成の速度を緩めることなく進めていきたいとの一心でございました。</p> <p>また、妻と運転員の接種につきましては、先生から「私自身が感染し、その会議の場にいらなくなるリスクを避けることは当然のことながら、濃厚接触に当たる身近な人についても同時に接種することが有効である」とのご指導をいただきました。「共に生活をしている妻と、密室の空間の中で移動を共にしている市役所公用車の運転員が思い当たります」とお答えしたところ、「最低限その方々と共に接種を受けていただきたい」というアドバイスをいただきました。仮に、妻と運転員が陽性となった場合には私自身が濃厚接触者となり、2週間の自宅待機が求められますことから、最終的に接種の判断をしたところでございます。しかしながら、本来であれば、事前に市民の皆様にご説明申し上げるべきでありました。市民の皆様にご不信感を抱かせることになってしまい、大変申し訳なく思います。</p> <p>これまで、ふじみ野市として全力でワクチン接種について取り組んでまいりました。今後も引き続き、速やかなワクチン接種を進め、早期の集団免疫の獲得に向けて全力を尽くしていきたいと考えております。また、ご指摘のありました当該サイトのワクチン接種実施予定医療機関一覧37機関と、厚労省のコロナワクチンナビによるふじみ野市の接種会場一覧との不一致につきましては、個別接種を実施する医療機関に併せ、市の特設会場で実施しております集団接種のみに従事する医療機関の一部が登録されていることにより生じていたものです。今後は個別接種のみを実施している医療機関の情報のみが掲載されるよう、順次登録内容の変更を進め、市民のみなさまにわかりやすい情報提供を行ってまいります。</p>	<p>秘書室</p>

令和3年4月から6月

ご提案要旨	市からの回答	市からの回答	担当課
<p>市内の遊水施設（川やミスト）の稼働について</p>	<p>昨年は市内の遊水施設（川やミスト）の稼働について、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、子どもたちの健全な遊びに必要なため、今年の実施をしてほしい。</p>	<p>遊水施設は、自然の川と違って流れも速くないため、安全に子どもたちを遊ばせることができます。子どもたちにも大変人気があり、毎年多くの子供たちが利用しています。子どもたちにはこのような水遊びの場が必要であり、遊水施設はその場所として最適だと思います。このことから、私もできる限り施設を稼働させたいと考えております。</p> <p>今年の遊水施設の稼働につきましては、新型コロナウイルスの影響を注視している状況であり、未だ決まっておりません。近隣自治体の状況については把握しており、稼働を予定している所や稼働を中止しようとしている所など各自体によって対応は様々でございます。本市としましては、市民のみなさまの安全を第一に考え、どのようにしたら感染拡大を防止しながら遊水施設を稼働できるかを検討しているところでございます。遊水施設の稼働について、この場で明確なご回答ができず大変申し訳ございませんが、稼働させて欲しいという強いご要望があったことをしっかりと受け止め、利用者の安全性を考慮した上で稼働するかどうかの判断をしていきたいと考えておりますのでご理解ください。</p>	<p>公園緑地課</p>
<p>小学校校外学習について</p>	<p>校外学習と思われる引率者付きの小学生の団体がいたが、横断歩道を渡る様子が常軌を逸していた。当該の集団は歩行者用信号が青になり、引率者が横断中の旗を出しながら横断を開始。青点減でも横断を止める気配なし。歩行者用赤でも横断を継続。車用が赤になり交差点内に右折車2台滞留、まだ横断を継続。その後、交差道路が青になり、児童数人と引率者一名を残してようやく横断を中断する。当該の小学校では交通ルールというのは守らなくて良いと教育されているのか。教育の場で率先して信号無視をさせる。これは如何なものか。予定より遅れているとか事情があるのかもしれないが、それは交通ルールを無視してまで守ることなのか。校外学習は目的地での何らかの教育をすることが主目的であると思うが、その道程での交通ルール等の学習は含まれていないのか。また今回の行動が交通事故を惹起させるような事象であることを引率者、教職員は自覚しているのか。旗を出しているから許されると思っているとしたら教育を盾にして好き勝手し過ぎである。いずれにせよ、教職員が手本にならないどころか反面教師になっているのは問題である。</p>	<p>いただいたご意見をもとに調べたところ、校外学習を行っていた学校は本市の小学校であること、引率教員は青信号のうちに児童を横断させきれなかったことがわかりました。ご指摘のとおり、教員は児童生徒の安全を第一に考え、交通ルールの遵守を子供たちに教える立場にございます。ご心配とご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたします。いただいたご意見につきまして、教育委員会を通し当該学校の管理職に伝え、再発防止に努めるよう学校を指導いたします。今後とも市政に対しましてご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>	<p>学校教育課</p>

令和3年4月から6月

	ご提案要旨	市からの回答	担当課
<p>新型コロナワクチン大規模接種会場を利用可能にするための64才以下の接種予約券前倒し発行・発送願い</p>	<p>私は65才未満であるためワクチン未接種であり、同様に多くの若い方々、ふじみ野市役所職員の皆さんを始め、市民を守る職種（消防・警察・医療等）に就いている皆さん、教育保育関係者の皆さん、介護職の皆さん、市民の生活を支える就業者の皆さん等、多くの若い方々も未接種である。</p> <p>このような方々にもし何事かあれば、市政はもちろんのこと、市民の生活自体が停滞し困窮することは明白である。未接種であるが、感染リスクが高い通勤を余儀なくされ、感染するかも知れないしさせるかも知れないという不安を抱えながら、仕事に従事し不特定多数者との接触が発生している。そんな中、東京のワクチン大規模接種会場を利用できることになったが、接種予約券が届いていない。市担当に問い合わせると、64才以下の発行・発送は7月中旬とのことである。しかし、新型コロナウィルスの一日も早い終息、そして克服のためには一日も早いワクチン接種が必要であるため64才以下の新型コロナウィルス・ワクチン接種予約券の、前倒しで早急発行・発送を要望する。</p>	<p>新型コロナワクチン接種に必要な接種券の発送については、これまで、国が示す優先順位に従って発送してまいりましたが、現在は、高齢者等におけるワクチン接種の進捗状況を見ながら、弾力的な発送を検討しております。</p> <p>64歳以下の方につきましては、高齢者の方の接種が7月末までに終了する見込みとなりましたので、7月中旬頃の発送を予定しているところです。</p> <p>しかしながら、ご指摘がありましたように、国が設置する大規模接種会場で接種を希望される方と、国が示す基礎疾患がある64歳以下の方には、6月18日から申請による接種券発送を行っております。</p> <p>申請につきましては、市のホームページおよび市内113箇所に設置している広報掲示板でお知らせしておりますとおり、ふじみ野市新型コロナワクチン接種サポートセンターへお電話をお願いします。</p> <p>今後につきましても、市民のみなさまにわかりやすい情報提供を行い、迅速なワクチン接種に努めてまいります。</p>	<p>保健センター</p>